

<お知らせ>

**9月1日より
デジタル校了(データ投込み校了)を
開始いたします**

株式会社光文社 広告部

平成 15 年 7 月 25 日

広告会社ご担当様各位

デジタルデータ入稿およびデジタル校了に関して

謹啓 時下、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社発行誌の広告集広に格別なるご高配をいただいておりますこと、御礼申し上げます。

さて、弊社では表題にありますように、9月1日よりデジタル校了を開始させていただくことにいたしました。

この件につきまして、以下、ご説明させていただきます。

ご存じのとおり、今年春からトヨタ自動車様がJMPAカラー(雑誌広告基準カラー)に則った広告原稿作成およびデジタル校了を開始いたしました。と同時に、トヨタ自動車様のデジタル化を受けて、JMPAカラー実運用、もしくはご検討いただいている広告主様も増えてきているのが実情です。弊社でも、トヨタ自動車様の原稿については逐次、デジタル校了を行なっております。

こういったデジタル化の流れにより、従来のMO(CD-R)によるデータ入稿の比率も徐々に上がってまいりました。

もうひとつ申し上げさせていただければ、将来的には、現在の主流となっておりますポジフィルムでの入稿形態からデータによる入稿形態にシフトしていくことが予想されています。この背景には誌面のCTP化進行や、数年後には平台校正機が製造中止になるという現実問題も含まれております。

こうした点を踏まえまして、弊社としては、広告原稿のデジタル化に本格的に取り組むたく、本日、ご案内をさせていただいたしだいです。

次項から、運用に関する詳細なご説明をさせていただきます。

主旨をご理解いただき、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

謹白

1. データ(MO)校了の開始にあたって(校正が必要な場合も共通です)

データは日本雑誌協会「雑誌広告デジタル制作ガイド ver1.0」を基に制作してください。

「デジタル制作ガイド」につきましては、日本雑誌協会ホームページでも紹介しております。ご参照ください。

<http://www.j-magazine.or.jp/>

データは原則として<完全データ>で入稿してください。

「雑誌広告共通・データ入稿確認書」、MO、適切な色(印刷)見本の3点セットで入稿してください。

色調の見本となる「色見本」の添付をぜひお願いいたします。ただし「色見本」は入稿いただくデータから出力したものにかぎります。

「入稿確認書」にはもれなく記入してください。

入稿データは広告会社様が責任を持ってデータチェックしてください。

現状において、5件に1件は何らかの“不良データ”が入稿されていますので、いま一度、ご確認をお願いします。

<雑誌広告共通・データ入稿確認書>に基づいて制作されていることと思いますが、以下のような原稿不備が発生しています。

出力見本は最終データを原寸で出力し、文字化け等のないことが確認されていない。

MO内の不必要なファイル(作成途中、訂正前のファイル等)を削除していない

MO内の貼り込み素材データ(Photoshop、Illustrator)は過不足なく、一つのフォルダ内の同一階層に整理されていない。

イラストレーターのデータがeps保存されていない。

裁ち落としの画像・イラスト・罫線・平網等が版面サイズ(外トンボ)まで作成されていない

仕様外のフォントをアウトライン化されていない。

4色掛け合せ部分(含画像)の総網点量が、CMYK4版合計で300%以下になっていない(実質は320%までが許容範囲です)。

画像データを使用サイズ(実寸)および適正解像度にしていない。

今後は上記の例を含め、データ不良が認められた場合は、広告会社様に返却いたします。データを修整のうえ、改めて、ご入稿いただきます。

2 . MO完全データ(校正1回)の入稿スケジュール

スケジュールは弊社広告部ホームページに明記しているとおりです

<http://www3.kobunsha.com/ad/>

オフセット校正で色校をすることが可能です。

色およびネームに関して、変更が発生した場合は、広告会社様(広告主様含む)において修整をしてください。その場合は、修整後の出力色見本を添付してください。

修整後の体裁・色調確認をされたい場合のみ、DDCP(デジタルプルーフ)を印刷会社にて出力いたします。

3 . MO完全データによる“投込み校了”のスケジュール

投込み校了をご希望の場合は、事前に弊社の進行担当者にご連絡をお願いします。

当初はポジフィルムによる最終校了日の3日前(土・日曜日含まず)を期限とさせていただきます。

入稿いただくデータの精度が上昇すれば、将来的にはポジフィルムと同じ日程で“投込み校了”を実施する予定です。この件については、逐次、弊社広告部ホームページにてご案内いたします。

入稿3点セット(色見本は必須)とデータチェックを厳守してください。

入稿後、体裁・色調確認用のDDCPを印刷会社で出力いたします。

DDCPを広告会社様に送りますので、<賣了サイン>を記入してください。即日戻し厳守です。

入稿いただいたデータに不備・不良が発見された場合は、広告会社様負担でポジフィルム出力していただく場合もあります。

4 . J M P Aカラー準拠MO完全データによるデジタル校了

データを制作される広告主様と出力する側の印刷所が同じレギュレーションで、印刷工程を進行できるJ M P Aカラー準拠データによる入稿を弊社では推奨いたしております。この機会に導入をご検討いただければ幸いです。

<校正ありのケース>

入稿3点セット(色見本DDCPは必須)とデータチェックを厳守してください。

<雑誌広告共通・データ入稿確認書>に関して

J M P Aカラー準拠データでのデータ作成ルールは従来のデータ作成ルールとは異なります。ご不明な点は事前に弊社担当者までご連絡ください。

ポジフィルム最終校了日の7日前に入稿してください。

体裁・色調確認用のDDCPにて校了いただきます。

<投込み校了のケース>

入稿3点セット(色見本DDCPは必須)とデータチェックを厳守してください。

色見本(DDCPにかぎる)を添付していただいた場合のみ、ポジフィルム投込み日程でお受けいたします。

トヨタ自動車様方式(出力見本によるデータ投込み校了)も承りますが、事前に弊社担当者にご相談願います。

5 . 最後に

ご挨拶文にも記しましたが、雑誌印刷のデジタル化は加速度を増しております。現在、編集ページにおいてはDTP化が進み、アナログ方式の面付けをせず、デジタルによる刷版をする<折>も増えてきております。広告原稿におけるデジタル化も、トヨタ自動車様のJMPAカラー準拠データ“投込み校了”の開始で、関心度が高まっております。将来的には誌面のフルデジタル化が達成できれば、締切日のさらなる短縮による広告価値の向上も視野に入っております。また、JMPAカラーの導入をいただくことによって、従来のポジフィルム出力等によるコストの削減等も図れるかと存じます(実際、トヨタ自動車様が導入された理由の大きなウエートを占めています)。

以上、さまざまなお願いを記させていただきましたが、ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

この件に関する問い合わせは、

光文社広告部 海老原 進

03-5395-8120

s-ebihara@kobunsha.com

までお願いいたします。